

「化学肥料にも負けない」

たい肥づくり体験語る

とよなか市民環境会議が講演会

130人参加

市民、事業者、行政が環境問題に取り組む「とよなか市民環境会議」は16日、豊中市役所で、「生ごみリサイクル」をテーマに、取り組みの報告会や講演会を開いた。

同会議の「生ごみたい肥化実験プロジェクト」(高島邦子代表)が事業所の生ごみ提供を受けて進めていけるたい肥づくりの実験など、これまでの活動経過を報告。できたたい肥で野菜づくりをしている豊能町の農業者は「化学肥料に負けないほど養素分が豊富。柔らかいホウレンソウができる

い肥をつくる際のにおいて虫対策などの相談が相次いだ。参加した女性は(60)は

22、23日に講習会を開いた。会場には約130人が詰めかけ、休憩時間には、た

なごが語られた。



展示コーナーでは参加者からたい肥づくりの質問が相次いだ
豊中市役所で

生ごみからたい肥をつくる講習会は「市リサイクル工房展」期間中の22、23日午前11時半と午後2時から各時間、市役所第二庁舎1階ロビーで。問い合わせは市環境事業総務課(06-68558・22775)。

【相原 洋】

2000.2.17 毎日新聞